

<身体障がい者に対する給付等の対象となる用具>

給付

視覚障がいのある方

種目	障がい及び程度	性能	基準額
盲人用テープレコーダー	視覚障害2級以上	視覚障害者が容易に使用し得るもの	23,000円
盲人用時計	視覚障害2級以上  音声時計は、手指の触覚に障がいがある等のため触読式時計の使用が困難な者を原則とする	視覚障害者が容易に使用し得るもの	触読 10,300円  音声 15,500円
点字タイプライター	視覚障害2級以上  (本人が就労もしくは就学しているか又は就労が見込まれる者に限る)	視覚障害者が容易に使用し得るもの	63,100円
盲人用電卓	視覚障害2級以上  (就労している者、主婦又はこれに準ずる者を原則とする)	視覚障害者が容易に使用し得るもの	52,000円
電磁調理器	視覚障害2級以上  (盲人のみの世帯及びこれに準ずる世帯)	視覚障害者が容易に使用し得るもの	41,000円
盲人用音声式体温計	視覚障害2級以上  (盲人のみの世帯及びこれに準ずる世帯)	視覚障害者が容易に使用し得るもの	10,100円
点字図書	主に、情報の入手を点字によってしている視覚障害者	点字により作成された図書	厚生労働大臣が必要と認めた額
盲人用体重計	視覚障害2級以上  (盲人のみの世帯及びこれに準ずる世帯)	視覚障害者が容易に使用し得るもの	20,000円
視覚障害者用拡大読書器	視覚障害者であって、本装置により文字等を読むことが可能になる者	画像入力装置を読みたいもの(印刷物等)の上に置くことで、簡単に拡大された画像(文字等)をモニターに映し出せるもの	198,000円
歩行時間延長信号機用小型送信機	視覚障害2級以上	視覚障害者が容易に使用し得るもの	7,000円
視覚障害者用活字文書読上げ装置	視覚障害2級以上	文字情報と同一紙面上に記載された当該文字情報を暗号化した情報を読み取り、音声記号に変換して出力する機能を有する物で、視覚障害者が容易に使用し得るもの	115,000円

聴覚障がいのある方

種目	障害及び程度	性能	基準額
聴覚障害者用屋内信号装置	聴覚障害2級(聴覚障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯で日常生活上必要と認められる世帯)	音、音声等を視覚、触覚等により知覚できるもの	87,400円
聴覚障害者用情報受信装置	聴覚障害者であって、本装置によりテレビの視聴が可能になる者	字幕及び手話通訳付きの聴覚障害者用番組並びにテレビ番組に字幕及び手話通訳の映像を合成したものを画面に出力する機能を有し、かつ、災害時の聴覚障害者向け緊急信号を受信するもので、聴覚障害者が容易に使用し得るもの	80,000円

下肢又は体幹機能障がいのある方

種目	障害及び程度	性能	基準額
浴槽(湯沸器含む)	下肢又は体幹機能障害2級以上	障害者が容易に使用し得る洋式浴槽又はこれに準ずるもので、実用水量150リットル以上の浴槽及び浴槽の性能等に応じたもので、安全性について配慮された湯沸器	100,000円
浴槽(浴槽に限る)	下肢又は体幹機能障害2級以上	障害者が容易に使用し得る洋式浴槽又はこれに準ずるものとし、実用水量150リットル以上のもの	60,800円
湯沸器(湯沸器に限る)	下肢又は体幹機能障害2級以上	浴槽の性能等に応じたもので、安全性について配慮された湯沸器	50,000円
便器	下肢又は体幹機能障害2級以上	障害者が容易に使用し得るもの(手すりを付けることができる)ただし、取替えにあたり住宅改修を伴うものを除く	4,450円
特殊寝台	下肢又は体幹機能障害2級以上	腕、脚等の訓練のできる器具を付帯し、原則として使用者の頭部及び脚部の傾斜角度を個別に調整できる機能を有するもの	154,000円
特殊マット	下肢又は体幹機能障害1級(常時介護を要する者に限る)	褥瘡の防止又は失禁等による汚染若しくは損耗を防止できる機能を有するもの	19,600円
特殊尿器	下肢又は体幹機能障害1級(常時介護を要する者に限る)	尿が自動的に吸引されるもので、障害者又は介護者が容易に使用し得るもの	67,000円
入浴担架	下肢又は体幹機能障害2級以上 (入浴に当たって家族等他人の介助を要する者に限る)	障害者を担架に乗せたままリフト装置により入浴させるもの	82,400円
体位変換機	下肢又は体幹機能障害2級以上 (下着交換等に当たって、家族等他人の介助を要する者に限る)	介助者が障害者の体位を変換させるのに容易に使用し得るもの	15,000円

入浴補助用具	下肢又は体幹機能障害者であって、入浴に介助を必要とする者	入浴時の移動、座位の保持、浴槽への入水等を補助でき、障害者又は介助者が容易に使用し得るもの。ただし、設置に当たり住宅改修を伴うものを除く	90,000円
移動用リフト	下肢又は体幹機能障害2級以上の者	介護者が重度身体障害者を移動させるにあたって、容易に使用し得るもの。ただし、天井走行型その他住宅改修を伴うものを除く	159,000円

上肢障がいのある方

種目	障害及び程度	性能	基準額
特殊便器	上肢障害2級以上	足踏ペダルにて温水温風を出し得るもの。ただし、取替えに当たり住宅改修を伴うものを除く	159,000円
パーソナルコンピュータ	上肢障害2級以上(文字を書くことが困難な者に限る)	かな、漢字及び英数字による文書作成が可能で、編集、校正及び記憶機能を有し、障害者が容易に使用し得るもの(プロテクター、プリンター等を附帯することができるものに限る)	118,500円

重複障がい・内部障がい・その他の障がいのある方

種目	障害及び程度	性能	基準額
パーソナルコンピュータ	言語、上肢複合障害2級以上(文字を書くことが困難な者に限る)	かな、漢字及び英数字による文書作成が可能で、編集、校正及び記憶機能を有し、障害者が容易に使用し得るもの(プロテクター、プリンター等を附帯することができるものに限る)	118,500円
重度障害者用意志伝達装置	両上下肢機能の全廃及び言語機能を喪失した者であって、コミュニケーション手段として必要があると認められる者	まばたき、節電センサー等の特殊な入力装置を備え、障害者が容易に使用し得るもの	470,000円
携帯用会話補助装置	音声機能若しくは言語機能障害者又は肢体不自由者であって、発声・発語に著しい障害を有する者	携帯式で、ことばを音声又は文章に変換する機能を有し、障害者が容易に使用し得るもの	98,800円
点字ディスプレイ	視覚障害及び聴覚障害の重度重複障害者(原則として視覚障害2級以上かつ聴覚障害2級)の身体障害者であって、必要と認められる者	文字等のコンピューターの画面情報を点字等により示すことのできるもの	440,000円
聴覚障害者用通信装置	聴覚障害者又は発声・発語に著しい障害を有する者であって、コミュニケーション、緊急連絡等の手段として必要と認められる者	一般の電話に接続することができ、音声の代わりに、文字等により通信が可能な機器であり、障害者が容易に使用できるもの	128,000円

歩行支援用具	平衡機能又は下肢若しくは体幹機能に障害を有し、家庭内の移動等において介助を必要とする者	おおむね次のような性能を有する手すり、スロープ等であること。 ア 障害者の身体機能の状態を十分踏まえたものであって、必要な強度と安定性を有するもの イ 転倒防止、立ち上がり動作の補助、移乗動作の補助、段差解消等の用具とする。ただし、設置に当たり住宅改修を伴うものを除く	60,000円
居宅生活動作補助用具 (住宅改修費)	下肢、体幹機能障害又は乳幼児以前の非進行性の脳病変による運動機能障害(移動機能障害に限る)を有する障害程度等級3級以上の者(特殊便器への取替えをする場合は、上肢障害2級以上の者)	障害者の移動等を円滑にする用具で設置に小規模な住宅改修(屋内における改修及び玄関から道路までの通路部分等の屋外における改修に限る)	200,000円
透析液加温器	腎臓機能障害3級以上で自己連続携帯式腹膜灌流法(CAPD)による透析療法を行う者	透析液を加温し、一定の温度に保つもの	51,500円
酸素ボンベ運搬車	医療保険における在宅酸素療法を行う者	障害者が容易に使用し得るもの	21,000円
ネブライザー	呼吸器機能障害3級以上又は同程度の身体障害者であって、必要と認められる者	障害者が容易に使用し得るもの	36,000円
電気式たん吸引器	呼吸器機能障害3級以上又は同程度の身体障害者であって、必要と認められる者	障害者が容易に使用し得るもの	59,000円
火災警報器	障害等級2級以上(火災発生の感知及び避難が著しく困難な障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯)	室内の火災を煙又は熱により感知し、音又は光を発し、屋外にも警報ブザーで知らせ得るもの	15,500円
自動消火器	障害等級2級以上(火災発生の感知及び避難が著しく困難な障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯)	室内温度の異常上昇又は炎の接触で自動的に消火液を噴射し、初期火災を消火し得るもの	30,900円
老人・障害者用電話(新規設置の場合のみ)	難聴者又は外出困難な身体障害者(原則として2級以上)であって、コミュニケーション、緊急連絡等の手段として必要性があると認められる者及びファックス被貸与者(障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯)	障害者が容易に使用し得るもの * 老人用電話について 電話回線をプッシュ回線に切り替える場合 現行機種を後継機種に切り替える場合は、その回線切替費用	新規設置の場合 83,300円 ・ 2,000円

## 貸与

種目	障害及び程度	性能	基準額
ファックス	聴覚又は音声機能若しくは言語機能障害3級以上あって、コミュニケーション、緊急連絡等の手段として必要性があると認められる者(電話(難聴者用電話を含む)によるコミュニケーション等が困難な障害者のみの世帯及びこれに準ずる世帯)	障害者が容易に使用し得るもの	

## 共同利用

種目	障害及び程度	性能	基準額
視覚障害者用ワードプロセッサ	視覚障害者	編集、校正機能を持ち、日本点字表記法に基づき、入力した文章を自動的に点字変換が可能で点字プリンターとの連動により点字文書の作成及び音声化ができるもの	

(注)

1. 乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害の場合は、表中の上肢・下肢又は体幹機能障害に準じ取り扱うものとする
2. 聴覚障害者用屋内信号装置にはサウンドマスター、聴覚障害者用目覚時計、聴覚障害者用屋内信号灯を含む